

会議録

会 議 の 名 称	第2回 清須市公共施設個別施設計画（仮称）策定委員会
開 催 日 時	平成30年11月30日（金） 午後3時～4時15分
開 催 場 所	清須市役所 南館3階 大会議室
議 題	1 あいさつ 2 議題 （1）清須市における公共施設マネジメントの方向性について （2）施設類型別の二次評価（案）について 3 その他
会 議 資 料	資料1 公共施設マネジメントの方向性 資料2 施設類型別の二次評価（案） 資料3 市民ワークショップ結果
公 開 ・ 非 公 開 の 別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍 聴 人 の 数 （公開した場合）	0人
出 席 委 員	小松委員（委員長）、後藤委員、富田委員、飯田委員、風岡委員、葛谷副市長、斎藤教育長（加藤教育部長代理出席）、平子総務部長
欠 席 委 員	なし
事 務 局	〔総務部財政課〕 森高総務部参事、岩田課長、石田課長補佐、炭竈係長、清本主任
<p>1 あいさつ （岩田課長） 皆様、こんにちは。財政課長の岩田です。 本日は、お忙しいところ、本策定委員会にご出席いただき、ありがとうございます。 ここで、ご報告いたします。教育長の齊藤孝法委員は、都合により欠席です。本日は、代理で教育部長に出席をお願いしています。 また、この会議は、規定により公開となります。よろしく願いいたします。 それでは、次第に沿って、会議を進めます。 始めに、市を代表し、葛谷副市長から、ご挨拶を申し上げます。</p> <p>（葛谷副市長） 改めまして皆さんこんにちは。副市長の葛谷でございます。 皆様には、大変お忙しい中、この委員会にご出席頂きまして本当にありがとうございます。早いもので、8月の第1回会議に続いて2回目ということになります。 前回の会議の時に、少しお話をさせていただいたと思いますが、これから迎える人口減</p>	

少社会を見据えた施設のあり方を考えていかなければなりません。そのあり方を、具現化していくのが、施設個別計画ということになりますので、この計画は将来に向けての財政の持続性を確保していく面から、そして将来の清須市民の利便性あるいはニーズに応じていくことが求められるものになってきます。

そのためには、限られた財源を効率よく、また効果的に用いて施設の再配置、長寿命化、改築等を行っていく必要があります。一部の施設だけ上手くリニューアルして、部分的に良くなったとしても意味はなく、施設全体・市全体の最適化を目指していく必要があります。この全体最適化を考える上で、皆様方には施設の利用者としての視点、また市の将来を見据えた対極的な視点といったところで考えていただきたいというところでございます。

本日もご出席の皆様方は、そういった両方の視点お持ちの方々ばかりですので、活発な御議論をお願い致しまして、私の挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願い致します。

(岩田課長)

それでは、ここからは、小松委員長に会議の取り回しをお願いします。小松委員長、よろしくをお願いします。

(小松委員長)

それではあらためまして、みなさんこんにちは。

早速議題に移りたいと思いますが、まず、第1回の会議内容も踏まえて、現在の状況についてプロセスマップを用いて、少し事務局から説明をしてもらえますでしょうか。

(炭竈係長)

【プロセスマップ等の資料を用いて説明】

(小松委員長)

ありがとうございました。

では早速、議題に入りたいと思いますが、前回代理出席の方もいらっしゃいますので、改めて委員の方をご紹介させていただきますので、そのあと一言お願いします。

清須市体育協会会長の後藤悦男様をお願いします。

(清須市体育協会会長 後藤悦男委員)

清須市体育協会の後藤と申します。

前回から、これは大変難しいことをやろうとしているなと思っているのですが、私も今年から体育協会会長になったばかりで、正直なところ今まで何も考えておりませんでした。有意義な意見が言えるように勉強していきたいと思っています。よろしくお願い致します。

(小松委員長)

ありがとうございました。

清須市文化協会会長富田友一様をお願いします。

(清須市文化協会会長 富田友一委員)

清須市文化協会の富田と申します。よろしくお願い致します。

この委員に選定されたとき、戸惑っておりましたけれども、今資料の最初のページの量から質へというところを見ていまして、量から質へ本当に質が向上するのか、量というのはやっぱりサービスということですので、サービスを落として質が向上するのかなという疑問を持って今座っております。よろしくお願い致します。

(小松委員長)

ありがとうございました。  
清須市寿会会長飯田孝様お願いします。

(清須市寿会会長 飯田孝委員)

寿会会長の飯田でございます。

私は今年で任期が終わりますが、少子高齢化時代ということで、高齢化について、このプランでも触れていただいているため感謝をしております。さらに今後は人口の減少で子どもが少なくなる、あるいは逆に高齢者はどんどん増えていくということで、公共施設のあり方というのと、高齢者向けの対応ということも加味して、私自身も考えていきますので、よろしくお願いします。

(小松委員長)

ありがとうございました。  
清須市保育園保護者会連絡協議会会長風岡雅美様お願いします。

(清須市保育園保護者会連絡協議会会長 風岡雅美委員)

保育園保護者会連絡協議会の風岡と申します。

一通り資料を見せていただいたところ、学校と児童館、保育園・幼稚園が一体化していくというのは、すごく親としてもありがたいことで、今後どうなっていくのか楽しみだなと思っています。以上です。

(小松委員長)

ありがとうございました。  
葛谷委員お願いします。

(葛谷副市長)

副市長の葛谷です。よろしくお願いします。

(小松委員長)

ありがとうございました。  
加藤様お願いします。

(教育長代理 加藤教育部長)

教育部長の加藤と申します。

本日、申し訳ありませんが教育長は他の公務に行っておりまして、代理ということでよろしくお願いします。

(小松委員長)

ありがとうございました。  
平子委員お願いします。

(総務部長)

総務部長平子でございます。よろしくお願いします。

本日の委員会に先立ちまして、庁内で内部会議が開かれました。その中で気付いたことですが、どうしても役所の職員というのは目先の仕事がまず課題としてありますので、今回のような長期的、将来を見越したことというのはなかなか想像が付かないところであります。先日の内部会議でも将来の想像を十分にしてくださいということで、議論したところでございます。

10年あるいは20年・30年といったところが目標になって参りますので、そういった視点を持つことが重要だと、内部会議でも思いましたので、本策定委員会でも長期的な視点でのご意見をお願いしたいと思ひます。

(小松委員長)

皆様ありがとうございました。

それではお手元の次第をご覧ください。

本日は、議題(1)「清須市における公共施設マネジメントの方向性について」、議題(2)「施設類型別の二次評価(案)について」の2点について議論してまいりたいと思ひます。

議題(1)と議題(2)の2つをまとめて事務局から説明してください。

(炭竈係長)

財政課管財係の炭竈でございます。私から議題(1)を説明させていただきます。

【資料1、3を説明】

(清本主任)

財政課管財係の清本でございます。私から議題(2)を説明させていただきます。

【資料2を説明】

(小松委員長)

ただいま事務局から、議題(1)、(2)の説明をしていただきました。それでは、議題の順に沿って、ご意見等を伺ってまいります。

まず議題(1)では、第1章として、施設のそれぞれ一次評価そして二次評価の指標と現時点での進捗状況の他、施設の種類についても将来のサービスのあり方から施設配置の検討を行うという説明がありました。

続く第2章では、現在進めております二次評価において今後、追加すべく指標についての説明がありました。

これらの説明を踏まえ、議題(1)について何かご質問がありましたらお願いいたします。

(風岡委員)

幼稚園・保育園の一次評価結果について、ニーズが高い実態にも関わらず、ソフト偏差値が低いと感じている。また、今後15歳未満の将来推計を実施する予定とのことであるが、それによってソフト偏差値は変わるのか。

(事務局)

一次評価は現状の数値での評価である。保育園については、利用率はよいが、維持コストがかかっているため、ソフト評価が悪くなっている。また、二次評価は一次評価の結果に基づき、フローを用いて評価していく。現在フローの選択肢を整理している段階である。つまり、一次評価に基づいたA～Dの分類のうち、Aであれば継続、Dであれば見直しや統合といった、一次評価結果の特性に応じて検討する。その際、継続の方がいいのか、複合化の方がいいのかといった、施設の方向性を検討するにあたり将来推計を活用していく。

(風岡委員)

幼稚園・保育園は、小学校への複合化や民営化が案として挙げられているが、将来的にはどちらの方向へ進んでいくのか。

(事務局)

学校へ複合化するの1つの案であるが、保育園、児童館、学校が統合することによって若い世代が集まって新しい公共空間の創造に繋がると考える。

一方で、学校に統合するのは保育園だけでなく、高齢者施設の可能性もある。どういう組合せになると、どういう公共空間に生まれ変わるのかといった可能性を資料1でお示した。

また、資料2の民営化というのは、保育ニーズの多様性への対応する手段のひとつであると考えている。どういった公共空間、どういったコミュニティを創造したいのか、またそのためにどのような手段や手法を取り入れるかという複数ある組合せが存在するという意味でお示したものである。

(後藤委員)

一次評価結果は、現在の経過年数に大きく左右されていると思われる。例えば、現在20年経過した施設は、40年後には築60年となるため、施設の立地、配置条件等を考慮せずに、施設の経過年数だけで判断するのは危険であると思われる。現時点で古い施設も、新しければもっと利用されている可能性もある。

清須市は4町が合併して誕生した市であるが、合併前よりも公共サービスが低下して良いものか疑問を感じている。現に新川体育館が廃止になり、徒歩で利用していた人が春日B&Gまで車で行くなど、統合によって新たに距離的な問題が生じることになる。公民館など地域に密接した施設については、もう少し大きな目で見なければ、住民の合意を得ることは困難であると考えられる。

(葛谷副市長)

将来の人口減少に伴い、施設利用者が増加するわけではなく、また市職員の減少により、現在と同じ水準の公共サービスを維持できるわけでもない。将来的な職員不足、財政不足を前に、持続可能な行政サービスを行っていくためには行政改革が必要であり、利用者も今と同じ前提というのは成り立たない。

新川体育館を廃止する際も、総論賛成、各論反対という現実であったが、最初の1年以降は概ねご理解が得られたと感じている。将来的には、人口減少に伴い3軒に1軒は空家になると予想もされているが、次世代には有意義な結果になっていることを願って、大局的な視点と利用者の視点を持ってご議論して頂きたいと考えている。

(小松委員長)

議題(1)、(2)どちらの内容でも構いませんので、ご意見ある方お願いします。

(富田委員)

40年後の再配置案ではなかなか想像が付かない。10年後の現時的な案を見た後であれば、20年後、その先もと実感がわくと思われるため、現在の事務局の考えを聞かせて頂きたい。

(事務局)

現段階で中途半端な案は提示できないため、今回はまず40年後のイメージを見て頂いた上で、委員の皆様の意見を伺いたいと考えていた。最終的には、今よりも内容を掘り下げて案を提示していきたいと考えている。

(平子委員)

一次評価は、施設の現状が見える化したものであり、二次評価にあたっては、用途毎の将来的な利用ニーズを見据えて実施していく必要がある。建物の寿命が残っているうちは有効活用していくべきであり、数年も持たないような施設であれば、将来を見据えて改築や複合化等を行っていくことが考えられる。

どうしても目先の事を考えがちであるが、もう少し引いた目線で検討していくことが重要であると考えている。

(小松委員長)

現状を示す一次評価結果に将来推計等を加味すると、例えば利便性追求型やコスト削減型といったように、施設毎の再編シナリオが第3回の委員会で示されると理解している。

市としてどのような将来像を描くかによって、選定するシナリオが変わってくると思われる。市民が全般的に使用する施設や数が限られた施設は、将来像を考えやすいものであるが、小学校や福祉施設といった徒歩圏内に必要な施設は、人口の影響を受けて組合せも多くなると思われる。数字ばかりではなく、量から質への観点に立ち、質的な意味で将来像を描くことが必要である

例えば、どうしても徒歩圏内に設置しなければならない施設と、車移動を前提に駐車場整備という条件で考えることができる施設などを、財政的に成り立たせながら、公共施設の将来像を考えなければならない。40年後は社会情勢の変化だけではなく、居住地の形成を再考慮する必要も出てくると思われるので、そういった目線で議論していきたいと考えている。

(飯田委員)

清洲城やふるさとのやかたは、花見や産業祭り時は観光客が多く観光産業に貢献していると思われるが、一過性のものであり、稼働率が低い状況に地域の方も心配している。

また、観光バスの数が少なく滞留時間も少ないため、朝日貝塚資料館とタイアップし歴史を学んで過ごせるような観光施設とするなど、魅力をアピールしていくことが必要である。民間であれば、利用率が低い施設の人員を削減するなど、素早い対応をとるものであり、公共施設もハコモノありきで考えるのは避けるべきであると考えている。

再配置の実施にあたっては、一時には地域からの反対意見が出ると思われるが、しっかりと訴えていけば周囲の考え方も変わってくると考えられる。防災基準を満たした公民館や公会堂が身近にあるため、これら既存の施設を有効活用しながら、財政面でも増築などは避けることが望ましいと考える。

(小松委員長)

他にどなたかご意見ある方はいらっしゃいますか。

それでは、本日の議論ですが、事務局からの説明については、ご了承いただいたたということですのでよいと思います。

では、以後の進行は、事務局へとお返ししたいと思います。よろしくお願ひします。

(炭竈係長)

本日はありがとうございました。

今後であります、これから検討する二次評価をしっかりと精査したあと、配置方針案の策定に向けた事務を進めていきます、次回については、2月頃を予定しており、その際に配置方針案についてご説明申し上げたいと考えております。

(岩田課長)

長時間にわたり、どうもお疲れ様でした。本日、財政課管財係から説明いたしました内容につきまして、ご不明な点などがございましたら、2月に予定しています第3回の策定委員会の前でも結構ですので、財政課管財係までお問い合わせいただければ幸いです。

以上で、第2回策定委員会を閉会いたします。

本日はお忙しいところご出席いただき、ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。